

平成27年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ANAP

コード番号 3189 URL <http://www.anap.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 家高 利康

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長

(氏名) 名和 俊輔

TEL 03-5772-2717

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第1四半期の業績(平成26年9月1日～平成26年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第1四半期	1,880	△6.1	△161	—	△140	—	△74	—
26年8月期第1四半期	2,002	—	△63	—	△51	—	△40	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第1四半期	△34.77	—
26年8月期第1四半期	△22.51	—

(注)1. 当社は第1四半期の業績開示を平成26年8月期から行っているため、平成26年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
(注)2. 前第1四半期累計期間及び当第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年8月期第1四半期	5,074	2,103	41.5	987.39
26年8月期	4,926	2,177	44.2	1,022.20

(参考)自己資本 27年8月期第1四半期 2,103百万円 26年8月期 2,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年8月期	—	—	—	—	—
27年8月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成27年8月期末の配当予想は未定です。

3. 平成27年8月期の業績予想(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,107	3.0	105	—	105	—	8	—	3.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年8月期1Q	2,130,500 株	26年8月期	2,130,500 株
27年8月期1Q	99 株	26年8月期	61 株
27年8月期1Q	2,130,422 株	26年8月期1Q	1,782,198 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（平成26年9月1日から平成26年11月30日まで）におけるわが国経済は、政府・日銀による積極的な経済政策や金融緩和策を背景に、円安・株高が進行し、輸出関連企業の業績に改善傾向が見られました。しかしながら、海外景気の下振れ懸念や円安による輸入資材の価格上昇に加えて、個人消費に関しては、平成26年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、不透明な状況が継続しております。

当社が属するカジュアルファッション業界におきましては、消費者の節約志向の根強さに加えて、円安進行による輸入原材料の高騰、及び明確なファッショントレンド不在により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、管理部門の強化を目的として、各拠点に分散していた事業セグメントにおける本社機能を1箇所に集約いたしました。当該内容に基づいて、密な情報交換だけでなく迅速な意思決定を行い、事業経営のスピードアップを図ってまいります。また、店舗につきましては、集客力・収益性の高いショッピングモールに5店舗新規出店いたしました。さらに、既存店舗につきましては、厳密な採算管理に基づいて、今後の収益改善が見込めない店舗を9店舗閉店いたしました。今後につきましても、店舗リストラチャリングに基づく収益回復を推進いたします。

以上の結果、当第1四半期累計期間におきましては、売上高1,880百万円（前年同四半期比6.1%減）となりました。既存店売上高が減少したことによる粗利益の減少に加えて、商品出荷配送及び保管業務に係るアウトソーシング費用及び他社サイトにおける売上高増加に伴う支払手数料の増加が影響し、161百万円の営業損失（前年同四半期は営業損失63百万円）となりました。

しかし、円安基調が継続したことにより通貨オプション評価益を計上した結果、140百万円の経常損失（前年同四半期は経常損失51百万円）となりました。そして、不採算店舗の閉店に伴い減損損失を計上した一方で、税効果会計による法人税等調整額により、74百万円の四半期純損失（前年同四半期は四半期純損失40百万円）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(店舗販売事業)

当社の主要事業である店舗販売事業につきましては、高収益な店舗展開を目的に、ショッピングモールに5店舗新規出店いたしました。また、店舗改装 1店舗、店舗ブランドの変更 3店舗、退店 9店舗を行った結果、当第1四半期会計期間末における店舗数は90店舗になりました。セグメント利益につきましては、既存店売上高が減少したことに伴い、利益確保に苦戦いたしました。

以上により、売上高は1,042百万円（前年同四半期比13.2%減）、セグメント利益は23百万円（前年同四半期比80.3%減）となりました。

(インターネット販売事業)

当社の主要事業であるインターネット販売事業につきましては、積極的な商品供給を継続するとともに、自社ショッピングサイトの集客力向上を目的として、「LINE@」を中心とした他社媒体の活用などを実施いたしました。

また、他社サイトである「ZOZOTOWN」、「SHOPLIST.com by CROOZ」への出店が効果を発揮した結果、堅調に売上高が増加しております。ただし、他社サイトにおける売上高増加に伴う支払手数料の増加が影響し、利益確保に苦戦いたしました。

以上により、売上高は707百万円（前年同四半期比23.6%増）、セグメント利益は152百万円（前年同四半期比5.2%減）となりました。

(卸売販売事業)

卸売販売事業につきましては、既存の取引先に対する販売減少に伴い、売上高が減少しております。

以上により、売上高129百万円（前年同四半期比43.3%減）、セグメント利益は8百万円（前年同四半期比6.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は2,982百万円となり、前事業年度末に比べ66百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が126百万円、売掛金が124百万円それぞれ減少した一方で、商品及び製品が297百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は2,091百万円となり、前事業年度末に比べ81百万円増加いたしました。これは主に、建物が54百万円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は1,692百万円となり、前事業年度末に比べ319百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が115百万円、短期借入金が249百万円それぞれ増加したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は1,278百万円となり、前事業年度末に比べ97百万円減少いたしました。これは主に、社債が20百万円、長期借入金が59百万円それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は2,103百万円となり、前事業年度末に比べ74百万円減少いたしました。これは主に、四半期純損失計上に伴い繰越利益剰余金が74百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年10月10日の「平成26年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	691,368	565,032
売掛金	615,055	490,789
商品及び製品	1,392,502	1,690,487
仕掛品	542	205
原材料及び貯蔵品	8,504	6,795
その他	213,963	233,149
貸倒引当金	△5,805	△3,852
流動資産合計	2,916,131	2,982,608
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	458,273	512,745
その他（純額）	463,845	468,489
有形固定資産合計	922,118	981,234
無形固定資産		
	67,823	62,670
投資その他の資産		
敷金及び保証金	665,084	603,153
その他	366,447	453,628
貸倒引当金	△10,975	△8,971
投資その他の資産合計	1,020,555	1,047,810
固定資産合計	2,010,497	2,091,716
資産合計	4,926,629	5,074,325
負債の部		
流動負債		
買掛金	195,410	310,904
短期借入金	400,060	650,000
未払法人税等	13,002	6,200
賞与引当金	29,750	55,250
返品調整引当金	1,700	800
資産除去債務	11,848	11,818
その他	720,992	657,568
流動負債合計	1,372,764	1,692,541
固定負債		
社債	54,000	34,000
長期借入金	628,704	568,712
退職給付引当金	184,254	186,091
役員退職慰労引当金	377,680	377,680
資産除去債務	65,731	56,933
その他	65,753	54,828
固定負債合計	1,376,123	1,278,245
負債合計	2,748,887	2,970,787

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	297,630	297,630
資本剰余金	602,114	602,114
利益剰余金	1,277,378	1,203,295
自己株式	△69	△99
株主資本合計	2,177,053	2,102,940
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	687	597
評価・換算差額等合計	687	597
純資産合計	2,177,741	2,103,538
負債純資産合計	4,926,629	5,074,325

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
売上高	2,002,839	1,880,529
売上原価	875,098	845,313
売上総利益	1,127,741	1,035,216
返品調整引当金戻入額	1,200	1,700
返品調整引当金繰入額	6,500	800
差引売上総利益	1,122,441	1,036,116
販売費及び一般管理費	1,185,560	1,197,829
営業損失(△)	△63,119	△161,713
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	—	0
通貨オプション評価益	41,123	20,191
為替差益	—	1,909
その他	5,366	3,965
営業外収益合計	46,491	26,070
営業外費用		
支払利息	2,474	3,755
社債利息	506	241
株式公開費用	16,800	—
為替差損	8,773	—
その他	6,253	409
営業外費用合計	34,808	4,406
経常損失(△)	△51,436	△140,049
特別損失		
固定資産除却損	10,555	—
減損損失	5,567	16,924
解約違約金	4,071	6,381
その他	1,993	2,250
特別損失合計	22,187	25,555
税引前四半期純損失(△)	△73,624	△165,605
法人税、住民税及び事業税	3,461	3,656
法人税等調整額	△36,974	△95,178
法人税等合計	△33,512	△91,522
四半期純損失(△)	△40,112	△74,083

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成25年9月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	店舗販売事業	インターネット 販売事業	卸売販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,201,712	572,559	228,568	2,002,839	—	2,002,839
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,201,712	572,559	228,568	2,002,839	—	2,002,839
セグメント利益	120,819	161,284	9,531	291,635	△354,755	△63,119

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用354,755千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間（自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	店舗販売事業	インターネット 販売事業	卸売販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,042,950	707,897	129,682	1,880,529	—	1,880,529
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,042,950	707,897	129,682	1,880,529	—	1,880,529
セグメント利益	23,806	152,945	8,905	185,656	△347,369	△161,713

（注）1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用347,369千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。